

平成 21 年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号	27
------	----

自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上で、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる教育の推進。 (2) ルールやマナーを守り、社会的規範を大切にす生徒の育成。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒の育成。
2 評価する領域・分野	特別活動
3 今年度の具体的かつ明確な重点目標	(1) 豊かな人間性や自ら学び考える力などの「生きる力」や「活力」ある生徒の育成に努める。(リーダーの養成) (2) 生徒が自発的、自治的な活動を展開し、集団や社会の一員としての自覚を深め、自己を生かす能力が育つよう指導・援助を行う。(ボランティア精神の育成) (3) ホームルーム活動を中心とした特別活動全般を通して、学校生活への適応及び円滑な人間関係の形成を図るとともに、人間としての在り方・生き方に関する指導を充実する。(ホームルーム活動の活性化)
4 目標の達成に必要な具体的な取組	
<p>生徒会</p> (1) 生徒会活動への積極的な参加・協力を図るため、生徒会執行委員会・議会・各種委員会等の活動が円滑に行えるよう指導を行う。 (2) 各種生徒会行事への積極的な参加を促し、生徒の学校・学級への所属感及び自主的・実践的な態度を育てる。 <p>特活</p> (1) ホームルーム活動を通じて学級の一員としての自覚を深め、お互いを高め合う人間関係を形成する。 (2) 部活動への積極的な参加を促し、達成感及び自己成就感を味わわせることで、自己を生かす能力を育てる。	
5 取組状況・実践内容等	6 評価
<p>生徒会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週、定例の執行部会を開き、連絡の徹底及び、生徒の自主的な活動を促した。生徒会役員立候補者が複数出て、何年かぶりの選挙となった。 ・毎週、火曜日から木曜日を「あいさつ運動」の日として、特活部職員・執行部員各クラス議員の当番で、校門で登校する生徒にあいさつを行った。 ・各種行事に執行部が積極的に関わるよう、事前のマニュアル作り・当日の指導等を行った。 ・昨年度実施できなかった球技大会を実施した。 ・文化祭を新型ｲﾝﾌｧﾝｼﾞの猛威の中、急遽多くの変更を加えながら、企画・運営をした。 ・「大工海」(広報誌)を利用し、全校生徒の生徒会活動への興味や関心を喚起するように工夫した。 ・本校がホスト校となったインターアクト・クラブ年次大会を、執行部・ボランティア生徒を中心に企画・運営した。 <p>特活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生方や議員の生徒に対し、LHR活動の支援を行った。 ・毎月の部活動実施計画・実施報告の速やかな配布・回収を行った。 ・部活動の成果を Daikou - svr で管理し、各部署で利用できるような形態を工夫し 	A A A A A B A B A A

	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動の表彰伝達・壮行会を執行部や応援委員の生徒の手で行うことで、生徒のリーダーとしての意識を高めた。また、各部の努力を他の生徒にも知ってもらうことで、部活動への積極的な取り組みを促した。 ・部室の使用方法について、顧問を通じて生徒への指導を行った。 ・転部を申し出る1年生の生徒に、部活動への取り組みについて指導を行い、部活動への参加意欲を喚起した。 	<p>A</p> <p>A</p> <p>B</p>
<p>7 成 果 ・ 課 題</p>	<p>生徒の要望を受け、球技大会を復活させた。 文化祭では、インフルエンザ禍の中、多くの変更を伴いながらも、中止することなく、実施にこぎつけた。 執行部の生徒達に、学校のリーダーとしての自覚を促したことで、積極的な活動ができるようになった。 生徒会役員立候補者が複数出て、何年かぶりの選挙となった。1年生などに自主的に生徒会に参加しようという意識の高い生徒が出てきている。 本校がホスト校となったインターアクト・クラブ年次大会に、執行部・ボランティア生徒を中心に学校全体で取り組み、成功裏に終えた。 昨年同様文化祭のあり方について、学校全体で再検討する必要がある。 1年生が、運動系の部活動にあまり積極的に参加しなくなる傾向について、学校全体で、引き続き、対策を検討する必要がある。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
<p>8 来年度に向けての改善方策案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事に対して、全職員の協力体制を作る（書類の締め切り、表彰の円滑な連絡、行事への生徒参加の働きかけ等）。 		

学校関係者評価

実施年月日：平成22年1月29日

<p>【意見・要望・評価等】</p> <p>・</p> <p>・</p>
